



秋田市中通 6 - 7 - 36
全国林野関連労働組合
東北地方本部
発行者 高橋 茂
責任者
TEL 018-832-6957
FAX 018-834-7876

「闘志の夜明け」 林写協：欠畑 信

「風の中で」

林文協 阿部 進

風が吹いてきた
きな臭さと生臭さをのせた
遠い記憶の底にある
あの時と同じ風が

台湾問題
戦艦を使って武力行使を伴うものであればどう考えても存立危機事態
歴代首相が曖昧にしのいできた一線を
この人は軽々と越えてしまった

中国は強烈に反発 国連を通じてアメリカ力を巻き込んでの対日攻勢
日本経済への打撃 にもかかわらず
勇ましい 悪いのは言わせた野党議員と中国
高い支持率を背景に高市発言擁護が止まらない

戦火を知らない世代が政治の中心にいて
威勢の良さに共感する若い層
戦争というものに對するリアリズムが描けないまま
好戦的ムードだけが広がっている

火の見やぐらから半鐘が消え 寺からも鐘がなくなり
ナベ カマ ヤカン
ありとあらゆる金物が家庭から取り上げられたあの日
男たちは戦場に放り込まれ 女たちは竹槍を持たされたあの日
そしておびただしい数の生命が一瞬にして奪われたあの日

過ちは二度と繰り返しません
誓いの言葉が
風の中で
苦笑している



年頭のあいさつ

執行委員長 高橋 茂

2025年の年頭に当たりごあいさつ申し上げます。
組合員並びに林野労組ファミリーのみなさん、新年明けましておめでとうございます。また、昨年一年間の林野労組の取り組みや組織運営などにご協力頂いたことに對して、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の人事院勧告ですが、賃金面に絞ってみると、若年層に重点を置きつつ全世代で引き上げがされました。特に、中堅・高齢層は昨年を上回る引き上げ率となったことや自動車等使用者の通勤手当が見直し（引き上げ改定）が行われたことは、連合や公務労協に結集し、民間春闘と連携を図りつつ、中央・地方が一体となつて、粘り強く、組織的な運動を積み上げてきた成果であると受け止めています。一方で、物価上昇率は前年同月比プラス3%前後で推移している状況が続くなかで、実質賃金はマイナス基調であることから、継続して、「真に生活改善につながる賃上げ」を求めていく必要があると思っています。しっかりと官民連携のもと、2026春季生活闘争の取り組みを強化していきます。次に、私たちの職場実態（働き方）と組織態勢の確立です。

職場は、伐採量の増加、災害対応、民国連携業務、低コスト林業への対応等、業務量は増え続ける一方で、事業実行に必要な予算が不足していることや、定数削減による要員の減少が続く中で、厳しい状況は変わっていません。その中で、若年退職などの実態も続いております。その要求、交渉を粘り強く進めていく必要があります。そこで問われるのが組織態勢の確立です。そのためにも、組合員同士の話し合い、職場集会やオルグ、執行委員会での議論が重要です。改めて、組合運動の基本となる取り組みを強化していく必要があると思っています。次に政治情勢です。

昨年10月に、日本維新の会との間で連立入りを含めた政策協議が行われ、閣外協力による自民・維新の連立政権発足しました。この政権はこれまでにない右派・新自由主義的な色合いの強い政権といえます。

この間の自公政権によって貧困と格差が拡大しました。同時に、物価高、実質賃金が低下するなかでの生活の立て直しが急務であり、格差解消、税の再配分機能の強化、軍事増税阻止、また、「人権」に対する施策の推進が求められます。合わせて、国有林職場の予算や要員等の課題は政治との係わりが密接であり、政治の場を通じて社会の課題、職場の課題を解決させていく必要があります。

2026年も組合員の団結強化と労働条件の維持向上、山積する課題の前進と民主主義を守るため、働く者の声が届く政権交代の実現を目指し、連合や関係団体との連携を強化して取り組みを進めていく決意と、組合員の皆さまのこの一年のご多幸を祈念して年頭のあいさつとします。

謹賀新年

年男・年女を迎えて

「年男となるにあたって」
小笠原義孝

「年男の抱負」
久坂 浩志

久慈分会

2026年に年男になる（60歳の還暦を迎える）ことになり、改めて年を取ったのだと実感しました。高校卒業後に就職したときは、60歳はすいぶん先のことと思っていきましたが、実際にその年齢になると、あつとゆう間だったと思います。

近頃は足腰が痛くなることが多くなったので、無理をせずに健康に生活したいと思っています。

「早いもので4回目の年男」
鈴木 徹

「仲間たちよっいへ」
倉田 弦岳

仙台分会

新年あけましておめでとうございます。

早いもので4回目の年男を迎えることとなりました。就職してから29年目に入りますが、価値観や日々の生活も様変わりし、職場にもたくさんの若い人が増えたとすごく感じることも多くなってきました。まだまだ若いものには負けないと言いう気持ちに心を秘め、この令和の世の中を若い世代とともに共生・協力しながら、共に退職するその日まで歩んで行こうと思っています。

「楽しく健康に過ごしたい！」
佐藤 裕美

本局分会

新年あけましておめでとうございます。原稿依頼をいただいた際、同期に「年女？そうだったけ？」と確認した次第です。若い頃、組合新聞に「地元に戻り、森林官になりたい！」という抱負を語った記事が掲載されていたことがありまして。その思いも数年後には無事に達成することができましたが、現在は山はもとより平地でも蹟く始末です。少し運動をして足腰を鍛えたいと思っています。

現在、夫は単身赴任中のため、反抗期真っ盛りの息子と2人で毎日喧嘩しながらも、楽しく過ごしています。

「これ以上太らない！」
本田 敬子

山形分会

新年あけましておめでとうございます。2026年の抱負は、やはり「痩身」です。20代の頃とは違う、本気の痩身です。これ以上の体重増加は命の危険があるように感じます。昨年、子供が高校へ進学し、少し親の手を離れました。久しぶりに自分の時間を持つようになり、健康管理のための運動を生活の中に取り入れたいと思います。

俳句

林文協 千田 春義

「早苗饗」

米の値で早苗饗政治まで及ぶ
早苗饗も疲れの助長家に着く
作柄は天候任せ大屋寝
後継ぎにも送る飯米種浸す
春闘の桃太郎旗頼りなや
聞こえない距離で会釈の漆掻き
雪焼けのこけし槐をただ削る
集落に鯉のぼりなし広い空
茎立ち菜陽と交旨の如く揺れ
立ち小便出来て帰省はただ楽し

「午を3周走り、4周目に至り」
佐々木 尚

宮城北部分会

午年を2周も走ったと思つたら、もう3周目を終える年となり走ることが苦手な中、アツという間に過ぎてしまひ驚愕に感じています。

年男の抱負としては、2周目から3周目の間に多くの経験をさせて頂いたの、職場の知識や脂質を蓄

「感謝と挑戦の一年に」
成田 拓矢

米代東部分会

明けましておめでとうございます。

昨年は思わぬ災難や試練が続き、立ち止まることもありましたが、多くの方に支えられ何とか乗り越えることができました。支えてくれた人への感謝を胸に、これまでの経験を糧として成長につなげ、健康を大切にしながら、新たな挑戦に

「変えてはいけないこと」
古村 光二

本局分会

新年おけましておめでとうございます。

早いもので5回目の年男を迎えたようです。勤務年数と組合員歴はほぼ一緒で、全林野及び林野労組の組合員として、昭和・平成・令和を過ごしてきました。

この間、国有林野事業は「改善計画」「抜本的改革」

「2026年を迎えての願い」
佐渡 恒幸

秋田分会

林野労組にお世話になり18年が経ちます。当時の農政局では省庁間配転が求められ続け、気が付けば同期入省者は各省庁にバラバラとなりました。ライン等無い時代の別れは、今では連絡するすべも見当たりません。噂で聞こえる「退職した、転職した」の確認もでき

「2026年もよろしくお願いします。」

林野労組東北地方本部書記局一同

執行委員長	高橋 茂
副執行委員長	土佐 信
書記長	伊藤 誠
執行委員	成田 篤
執行委員	高橋 凌
書記	柴田 緑
書記	鎌田 のり子

森林労連共済業務担当職員

青森地方 西山 俊逸

